

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

The power of sports for everyone.

国内最大であるスポーツの祭典「国民スポーツ大会」の開幕まで2年を切りました。

神崎市では2つの正式競技、2つのデモンストレーションスポーツが開催予定です。正式競技では、全国から国内トップレベルの選手が集まり、大勢の観客が訪れます。

今月号では、市が行っている SAGA2024 の開催に向けた取り組みや SAGA2024 で活躍が期待される選手を紹介します。(→30P)



▲昭和51年開催の前回大会（若楠国体）

国民スポーツ大会 神崎市開催競技

正式競技

剣道競技

○開催日 2024年9月28日(土)～30日(月)3日間

○会場 神埼中央公園体育館



ハンドボール競技

○開催日 2024年10月10日(木)～14日(月・祝)5日間

○会場 神埼中央公園体育館 神埼高校体育館
トヨタ紡織九州クレインアリーナ

デモンストレーションスポーツ

フライングディスク

○開催日 未定

○会場 日の隈公園グラウンド



いごてだま

○開催日 未定

○会場 神埼市内の体育館



神崎市の取り組み



広報物の作成

大会の認知度向上や機運醸成を図ることを目的にポロシャツ、PRパネル等の作成を行いました。

学校訪問 2024

大会の認知度や参加意欲向上などを目的として、県と市が共同で市内の小中学校を訪問し、講話やスポーツ体験会などを行う「学校訪問 2024」に取り組んでいます。

施設の整備

国スポ開催に向けて、剣道とハンドボールの競技会場となる神埼中央公園体育館、練習会場となる神埼勤労者体育館およびB&G体育館の改修工事を行っています。

西九州大学

学生広報サークル(CSNG)との連携

国スポへ向けた機運醸成を目的として西九州大学学生広報サークル(CSNG)に国スポ広報サポーターとしてPR活動などのご協力をお願いしています。

また、若い世代の声を大会に取り入れるため、月に1回程度意見交換を行っています。



(インスタグラム)
神崎市 SAGA2024 公式 Instagram

開催準備の状況や市の取り組みを発信しています。



SAGA2024 について

平成30年に成立した改正スポーツ基本法により長年親しまれてきた「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わります。

令和6年(2024年)に開催される佐賀大会が「国民スポーツ大会」に名称が変わる最初の大会となります。

佐賀県では、昭和51年の若楠国体以来、48年ぶりの開催となります。

愛称・メッセージ

SAGA2024 国スポ・全障スポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

開催日程

◎国民スポーツ大会

本会期 2024年10月5日(土)～10月15日(火)
会期前 2024年9月5日(木)～9月17日(火)
9月21日(土)～10月1日(火)

◎全国障害者スポーツ大会

2024年10月26日(土)～10月28日(月)

◎問い合わせ 国民スポーツ大会推進課
国民スポーツ大会推進係 37-1331



国民スポーツ大会とは

国民スポーツ(体育)大会は、昭和21年(1946年)から毎年各都道府県の持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典です。

37競技が開催される正式競技は、競技得点の合計を競う都道府県対抗で行われます。男女総合優勝に授与される「天皇杯」と女子総合優勝に授与される「皇后杯」をかけ、代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

開催競技は、得点の対象になる「正式競技」のほか、「特別競技」「公開競技」「デモンストラーションスポーツ」が実施されます。



全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会は平成13年(2001年)に第1回大会が宮城県で開催されて以降、オリンピック後に開催されるパラリンピックと同じように、毎年、国民スポーツ(体育)大会終了後に開催されています。

大会は、障がいのある選手が競技などを通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加を推進することを目的に開催されています。

開催競技は「正式競技」「オープン競技」が実施されます。



佐賀県では、SAGA2024で主力となり得る選手を「強化指定選手」として認定しています。市報かんざきでは、毎月神埼市内在住の「強化指定選手」を掲載しています。今月号は千代田中2年で佐賀バレーナースU15所属の「野田雄介」さんです。(→P30)

ユニーク 超巨大スイカ

8月10日



平英典さん(神埼町竹原)が畑で栽培した、ユニークな形の巨大スイカやマクワ瓜をいただきました。スイカやマクワ瓜は18日に試食会を行い、来庁された市民の皆さんも笑顔でスイカを食べながら、夏を締めくくる思い出となりました。

山口さんに 緑化功労者・林野庁長官賞

7月29日



山口三喜男さん(脊振町広滝東)が令和3年度緑化功労者・林野庁長官賞に選ばれ、県庁で伝達式が行われました。

山口さんは24年間、佐賀東部森林組合の代表理事組合長を務められるなど、林業の普及啓発活動や地域林業の振興に貢献されました。

3年ぶりの夏季訓練 消防団員きびきびと

8月28日



神埼市消防団夏季訓練が脊振グラウンドで行われました。早朝から江頭文則団長以下334人が参加し、日頃の訓練の成果を披露しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今回3年ぶりの開催となりました。天気にも恵まれ、通常点検や小隊訓練など、統制のとれた動きを行いました。

桑菱茶の新茶お披露目

8月4日



今年も、桑菱茶の新茶ができあがり、市役所で試飲会とお披露目が行われました。

桑菱茶は、市の特産品である「菱」の外皮と、ポリフェノールが多く含まれる「桑」をブレンドしたお茶で、市と西九州大学、菱や桑の関係団体が協力して開発しました。

お茶は、無添加・無着色で、菱と桑を細かく粉砕して作られており、ほのかな甘みがあります。

市内の10店舗で販売をしており、市民の皆さんは、半額で購入できます。



高取山公園(神埼市地域おこし協力隊)
https://www.instagram.com/takatoriya_park



インスタグラム アカウント名:くねんニャン[公式]
<https://www.instagram.com/kunennyann0501/>



勇気ある人命救助に感謝

9月13日



神埼中学校2年生の生徒が、神埼警察署から贈られた感謝状を手に、市長を訪問し、報告を行いました。

今回、感謝状が贈られた生徒5人は、7月14日の午後、神埼町内の道路脇の水路で、足をけがして動けなくなっていた女性を発見した際、全員で協力して、救急車を要請するなど人命救助を行いました。市長は「人が困っているときに助けるのは当たり前なことだが、今回、皆さんがこのように行動してくれたことを知って、とても感動した」と、5人の勇気ある行動に感謝の言葉を述べました。

当時を振り返った寺崎仁さんは「救急車を呼ぶのは初めてですごく不安だったけど、命が助かってよかった」と話しました。

これからもお健やかに 長寿をお祝い

9月12日・14日



長寿の祝福と社会に貢献された労をねぎらうため、市長が100歳以上(今年度末時点)の高齢者を訪問し、祝金を贈呈しました。

市内の100歳以上とられる方は9月1日現在で43人となっています。

新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの対面となりましたが、皆さんは市長の訪問に笑顔で対応いただきました。

市内最高齢者は、佐野千代子さん(神埼町小淵)で104歳。男性最高齢者は、松永福市さん(千代田町丙太田)で102歳です。

※写真は、松永福市さん訪問時の様子。

認知症を学び支える市民の集い 講演やストレッチ講座

9月17日



今年で8回目を迎える「認知症を学び支える市民の集い」をはんぎーホールで開催しました。今回は、第一部で『認知症＝人生の終わりじゃない』と題して、タレントのハリー杉山さんが、自身の介護の経験から認知症について話され、第二部では健康運動指導士の荒巻圭子さんによるストレッチ講座を行いました。

約150人が参加し、認知症について学び、楽しく集う機会となりました。

また、高齢者が中心となり地域社会活動や世代間交流といった社会参加活動を積極的に行っている団体として、内閣府から表彰を受けた「岩政ハッピーサロン」の伝達式も併せて行いました。

